

新飯田 コミ協だより No.43



発行日：令和3年7月31日 発行元：新飯田コミュニティ協議会 連絡先：TEL.025-374-2001（新飯田地域生活センター）

にいだ祭り

今年のにいだ祭りもコロナウイルス感染拡大防止の観点から、大名行列などを行わず規模を大幅に縮小し、神事ごとのみに集約して執り行われました。



～ごあいさつ～

新飯田コミュニティ協議会 会長 齋藤栄樹

日頃よりコミ協の活動に対しまして、皆様よりご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。先のコミ協総会で、会長を務めさせていただくことになりました古町の齋藤栄樹です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、コミ協の活動も中止や規模の縮小など、あらゆることが通常通りに行えず、本当に思いを果たせぬことが多かったと思います。今年度の活動も、状況を見極めながら、地域住民の住みよい環境づくりを進めて参りたいと思っております。

ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルス感染症が一日でも早く治まり、子どもたちがマスクなしで話ができるように願うとともに、私たちも活動を通して、コミュニケーションが図れる状況に早くなれるように願っております。

各行事を通して、新飯田地区の活性化のために皆様と協力して、多世代間の交流や地域住民同士の融和と助け合い（支え合い）と、親睦を図っていききたいと思っております。そして地域住民が、いつまでも安心して暮らしていくことが出来る環境づくりと、地域社会を構築していくため、皆様のご理解とご協力の下、コミ協活動を推進し、新飯田地区の発展のため、微力ながら寄与して参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

新飯田コミュニティ協議会総会 4月20日(火)



新飯田コミュニティ協議会副会長 新飯田地区公民館推進委員会会長 星 和美

この度、新飯田地区公民館長及びコミ協副会長に就任いたしました星です。昨年度以来全世界で発生しております新型コロナウイルスは、ワクチンの開発はされたものの未だに収束のめどが立っておりません。これらの影響で皆様と一緒に活動していただく様々な事業を中止せざるを得ない状況であり、非常に残念で仕方ありません。

この新飯田地区には、何十年と続く伝統ある事業が数多くあります。これらも良いものは継続し、また皆様方の意見を取り入れ新しいことにも挑戦していきたいと思っております。今後とも、より一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新飯田コミュニティ協議会副会長 新飯田地区スポーツ振興推進委員会会長 木津 吉博

今年度、スポーツ振興推進委員会会長、コミ協副会長を務めることになりました木津です。前役員のお意思を引き継ぎ、斎藤新会長の元、コミュニティ協議会をスムーズに運営し、地域活動を推進し、また新飯田地域の皆様の力とされるよう邁進してまいります。微力ではありますが、よろしくようお願い申し上げます。

新飯田小学校 運動会 5月26日(水)

今年度も小学校のみでの運動会となりましたが、子どもたちは元気いっぱいを出し切りました。来年は、地区民合同で開催できるよう願っています。



ザリガニ釣り ふれあいパーク有願の里公園にて 7月2日(金)

晴天の下、1・2年生は有願公園へザリガニ釣りに行きました。先生からザリガニ釣り用の竿をもらい、スタート。エサを近づけると、ザリガニが面白いように釣れました。みんなで助け合い、楽しいひと時を過ごしました。



だいすき新潟 ～新飯田の宝さがしを続けよう～

伝統ある『新飯田祭り』の大名行列について学ぶため、神明宮に行きました。神明宮で太鼓の叩き方や篠笛の吹き方など、多くのことを学びました。よい体験ができました。講師の皆様ありがとうございました。



新飯田地区自主防災会 防災講座 6月17日(木)

講師：李仁鉄（りじんてつ）氏 NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長

避難所ってどんなところ？ コロナ対策をしながらの避難生活って何に気を付けたらいいの？ 防災って言われても何をしたらいいの？ 自分でできる備えは？ 地域や組織でできる備えは？……？？？ こんな疑問に答えるべく、自主防災会は南区社会福祉協議会様のご協力をいただき、全国の被災地で活躍する李氏（ご自身はH16年三条市の豪雨で被災。それがきっかけで災害ボランティアに）をお招きし防災講座を開催いたしました。

コロナ対策で会場の人数制限があり広く地域の皆さまにご案内できなかったのが残念でしたが、地域の自主防を担う自治会長は半強制的（？）に、もしもの時に子供達を誘導する保育園、学校、学童の先生、各保護者会の代表、そしてご高齢者の相談員である民生委員や昨年赴任された駐在所山本さん等の方々から参加していただきました。

李氏のお話から一部を抜粋

①避難所生活ではコロナ対策に限らず感染予防として、睡眠時や食べ物を置く場所ではできるだけ床から30cm以上高い所が望ましい。多数の人が歩きまわる床には色々な菌が浮遊している。状況によってはコロナ患者さんも災害時は避難所に受け入れます。

②災害の種類によって避難場所は違いますよぉ～。どんな時も『小学校やセンターへの避難が最善』は間違いです。

地震は ⇒ 広い場所がより安全！

水害は ⇒ 高い場所がより安全！

土砂は ⇒ できるだけ遠い場所へ！（水を含んだ土砂は40km/hで流れる。ウサインボルトでさえ35～36km/h。あなたはそれ以上に速く走れますか？）

全戸に配布されているハザードマップやインターネットで検索するなりして、自宅がどんな所に建っているか家族で確認して下さい。1mは1階で溺れる。3mは2階の床まで水が来る。5mは2階でも溺れる。

③家庭での非常持出袋は夏用と冬用があると良い。大勢が集まる所ではトイレの順番に時間を要する場合もあり携帯トイレや除菌ウェットティッシュ、トイレトペーパーを。小さな子や赤ちゃん、ペットと一緒にの方はストレス軽減の為のおもちゃを。持病の薬とお薬手帳。予備のメガネ。携帯電話や補聴器の充電器。ゴミ袋などに使うビニール袋を多めに。

④自治会での備えとしては各家庭の家族人数や、避難時に声かけやほんのちよっとの手助けを必要とする人が地域のどのあたりにいるかの把握が大事。避難所に顔が見えなければ皆で確認に行ける。

【印象的な言葉】

『河川が高水位になってから逃げるは避難ではない、脱出です。という事は失敗する時もある。つまり濁流にのみ込まれるという事です。』『災害から幸いにも逃げられたにもかかわらず、不安からのストレス、運動不足、まわりに気兼ねなく会話できる人が居ないなど、不自由な避難所生活で亡くなる人が災害の直接死の何倍もいます！！』



白南中防災教室 6月4日(金)

三地区（新飯田・庄瀬・茨曾根）の防災士の皆さんが白南中にて、避難所運営などの指導を行いました。（トイレ、テント、ベットの立て方や食器の作り方など）

どのグループも熱心に取り組み、地域の心強い担い手としての姿を中学生の皆さんから感じた授業でした。

新飯田地域の防災士

山崎和代さん ・ 釜田真智子さん



はかるう体重！ あるこう南区！ 大作戦！

日頃から健康に気を付け、ウォーキングなどを楽しんでいる地域の皆さん、30日間の『はかるう体重！ あるこう南区！』に挑戦して景品をゲットしましょう！

30日分の体重が歩数をはかるだけ！（記録カードはセンターに用意してあります。）

達成賞

南区の施設、レストラン、観光農園等で使える割引券。

新飯田独自の達成賞

1. 保健会賞・参加者全員にもれなくプレゼント
2. コミ協賞・抽選で日帰り温泉入浴券

※カード提出期限：11月30日（火）

※カードを地域センターに提出いただいた方が対象です。



交通安全協会 新飯田支部より

新飯田支部において蛍光ベストを購入し、自治会選出の安全協会役員の方へ貸与致しました。街頭指導などの交通安全事業活動の際に着用し、危険交差点での事故防止活動や、歩行者及び自転車の安全確保、交通ルールの指導等にあたります。新飯田市日に貰い物にいらっしゃった地域の方々、登校時の小学生皆さん達、この黄色い蛍光ベストの人を見かけたらお気軽にお声がけください。



なお、役員交替時には次の役員へ、蛍光ベストを申し送り下さいますようお願い致します。

ホタル日記

今年も春から新飯田小学校、ひょうたん池の整備を開始し、観察をはじめていました。ちょうど6月新飯田祭りのころ1匹を発見し、また下旬から7月にかけて、もう1匹を確認することができました。

池では、メダカ繁殖中！ 夏には蓮の花が大きく咲きそうです。



これからの 行事予定

9月	5(日)	ソフトボール大会
	11(土)	白南中体育祭
	17(金)	新飯田小全校登山
	26(日)	新飯田地区敬老会【中止】 ※お祝い品贈呈予定
10月	2(土)	新飯田保育園運動会
	9(土)	ささえあいのしくみづくり講演会
	17(日)	ふれあい健康ウォーキング
	30(土)	白南中文化祭・合唱祭
11月	7(日)	新飯田地区芸術祭
	21(日)	新飯田地区フロアカーリング大会
12月	4(土)	新飯田保育園発表会
	5(日)	三地区交流ソフトバレーボール大会
	24(金)	新飯田保育園クリスマス会

新飯田放課後児童クラブ げんきっず

げんきっずは、3周年を迎え、子どもたちも支援員もますます元気に過ごしています。下校から保護者が迎えに来る2,3時間に、勉強をする、好きな絵を描く、自由に体を動かすなど、自分で考え、選び、げんきっずでの時間を楽しんでいるようです。

今後も子どもたちが安心できる居場所を作っていきたいと思います。



バケツでコメ作りに挑戦！

※この事業は新潟市の補助金により運営しております。